

OPENWAY FT z/OS 版 (Ver3.2 Rev20) リリースノート

OPENWAY FT z/OS 版 (Ver3.2 Rev20) では、OS/390 版 (Ver3.2 Rev13) に対して、主に以下の仕様変更・改善、および、不具合対応を行っています。

仕様変更・改善

- [1] FTP 結果判定処理の z/OS V1R4 対応
FTP 結果判定処理 (UFTPSCHK) において、判定対象とする FTP クライアントメッセージを z/OS V1R4 環境に最適化しました。
- [2] ソケット通信時のリカバリ判定コード追加
CONNECT 時の戻りコード ERRNO=50 (ENETDOWN: ネットワークがダウン) を、自動リカバリの対象に追加しました。
- [3] コード変換ユーティリティのタブコード変換対応
タブコードを変換対象とするようにしました (EBCDIC X'05' ASCII X'09')。
- [4] 転送件数登録ユーティリティの追加
転送件数登録ユーティリティ (UFTPCNT) を追加しました。
- [5] 対話管理画面で不要となった項目の削除
次の 2 項目は z/OS 版では実際には使用されないため、OPENWAY FT 対話管理画面上から削除しました。
 - a) OPENWAY FT 対話管理画面 B1 (ログ取得 / ジョブ監視間隔の変更) の
“タイムアウト時間”
 - b) OPENWAY FT 対話管理画面 C2 (管理ファイル登録 / 修正 / 削除) の
“ATTR データセット名”

不具合対応

- [1] 対話管理画面のダイアログエラー修正
OPENWAY FT 対話管理画面 B6 (転送実績照会) にて、未登録のファイル識別名を入力すると ISPF ダイアログエラーが発生する現象を修正しました。

【2】コード変換ユーティリティの1バイト文字変換ミス修正

ASCII 'z' の EBCDIC 英小文字への変換において、X'A9' に変換すべきところを X'AA' に変換していた不具合を修正しました。